大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (中)・基礎的な語句や語句の意味の理解の徹底を図ったことで、知識が身に付いた。また、体験的な学習は、理解を深め、表現することにもつながると同時に、社会的な事象に興味関心をもって主体的に活動に取り組むきっかけとなった。
- (高)・授業の中で、各産業に対して具体的にイメージをもつことができるように、専門的な言葉を押さえたり、 映像資料を活用したり、キーワードを押さえたりした。その結果、一つの項目を除き目標値を上回ること ができた。

(2) 課題

- (中)・地図から情報を読み取ることはできるが、地図以外の資料から必要な情報をまとめる力は十分ではない。 情報を集め、それらの情報から違いや傾向を考えるよう、指導する必要がある。
- (高)・写真や映像資料、産業のデータやグラフを読み取り題意を捉えることに課題が見られる。発問を通して、 教科書の写真やグラフから読み取る力を育てる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

(1) 建双平 (胜中比较)					
	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果		
第4学年	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を		
	3~5ポイント下回っている。	3~5ポイント下回っている。	5~6ポイント下回っている。		
	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して		
	「安全を守る働き」が特に弱	「市の様子や移り変わり」が特	「市の様子や移り変わり」が特		
	ν _°	に弱い。	に弱い。		
	・観点別では、「知識・技能」の	・観点別では、「知識・技能」の	・観点別では、「思考・判断・表		
	正答率が3~4ポイント低い。	正答率が特に低い。	現」の正答率が特に低い。		
第5学年	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を		
	1~9ポイント上回っている。	1~4ポイント上回っている。	1~5ポイント上回っている。		
	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して		
	「伝統や文化、先人の働き」が	「特色ある地域の様子」が弱	「伝統や文化、先人の働き」が		
分3子牛	弱い。	٧٠°	特に弱い。		
	・観点別では、「思考・判断・表	・観点別では、「主体的に学習に	・観点別では、「主体的に学習に		
	現」の正答率が1ポイント低	取り組む態度」の正答率が低	取り組む態度」の正答率が特に		
	V %	V ℃	低い。		
第6学年	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を	・正答率が目標値や区の平均値を		
	1~3ポイント下回っている。	1~3ポイント下回っている。	3~4ポイント上回っている。		
	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して	・領域別では、区の平均に対して		
	「産業と情報との関わり」が低	「国土の自然などの様子」「国	「国土の自然環境と国民生活」		
	V %	土の自然環境と国民生活」が特	が特に弱い。		
	・観点別では、「知識・技能」の	に引引い。	・観点別では、「知識・技能」の		
	正答率が3ポイント程度低い。	・観点別では、「知識・技能」の	正答率が4ポイント高い。		
		正答率が2ポイント低い。			

(2) 分析(観点別)

中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・店ではたらく人や安全なくらしについては理解できている。・地図や資料を読み取り、必要な情報を調べることに課題がある。	・体験活動を通して疑問に思ったこと や分かったことを、自分の言葉で表	・地図以外の資料を読み取ることに消

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・都道府県の様子や、日本の工業生産	・複数の資料から必要な情報を読み取	・資料等を読み取り、自分の考えをま
についての理解ができている。	る力に課題がある。	とめる力が十分ではない。自分の考
・日本の水産業についての理解に課題	・資料から情報を読み取り、考えたり、	えをもって授業に取り組むことが課
がある。	表現したりする力に課題がある。	題である。

3 授業改善のポイント (観点別)【◎は重点項目】

(1) 中学年

	1	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・町探検や模擬体験などを取り入れ、	◎資料を積極的に活用し、必要な情報	・学習の見通しをもって学習に取り組
体験活動を通して情報を集めること	を読み取る時間を多く設けていく。	めるように、ねらいを明確にする。
ができるようにする。	◎資料を活用することのよさを伝え、	・身の周りのお店や、公共施設などを
・博物館や学校図書、インターネット	相手に伝わるまとめ方ができるよう	取り上げ、児童にとって社会的事象
などを活用して映像、体験記など	に指導する。	を身近に感じられる指導をする。
様々な情報を集めるようにする。		

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・映像資料を活用したり、漁業別の生	◎資料を活用し、自分の考えをまとめ	インターネットや本などの資料から		
産量の変化と水産物の輸入量の変	ることを、それぞれの単元で意識的	自分で目的意識をもって調べ学習		
化のグラフを使用したりして、水産	に設定する。	を行い、お互いに発表し合う機会を		
業について具体的なイメージをも		つくる。		
ちやすくする。				